

2025-26

REXXAM
SKIBOOT

RR
REXXAM RACING

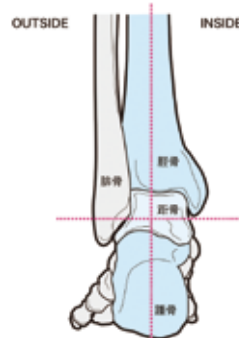
世界最速ブーツへの挑戦

REVO RR/RH/RS NEW レーシングモデル

「性能至上主義」を貫くレクザムが構想から5年をかけ、「世界最速」を目指し、シェル形状、肉厚、インナー、全てを新設計。「深い内傾角度を生み出し、角づけ・解放というレーシングに必要な技術要素をあらゆる領域で可能にする。」という開発コンセプトのもと、スムーズで確かなスキーコントロールを可能にした、リアルレーシングブーツが誕生した。

REVO POSITIONを継承したレーシングモデル

- ラスト幅 92mmと、カカト幅61mmのナローフィットラスト。
- ナローフィットで自動的にREVOポジションにセット。
- ロアシェル・アッパーカフ共にカントは0度に設定し、オフセットの軸を調整することで、角づけ・解放を瞬時に行う必要があるレーシング用にセッティング。



REVO POSITION

踵骨が垂直になり、距骨が水平になることで、脛骨・腓骨とも真っ直ぐとなり、ヒザ入れ方向と足の方向が一致することで、スキーブーツの中で理想的な足の状態を再現します。

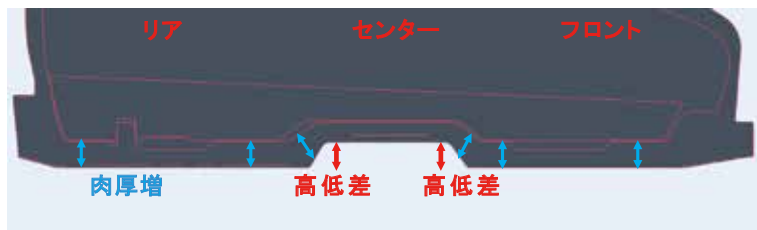
FOOT BED

- 拇指球・子指球・カカトの3点をカント0度、ヒール角2.5度のフラットにすることで、足裏の接地面のコンタクトがアップ。
- REVO R ヒールの高さ:42mm [ロア11mm、フットベッド25mm、インナー2mm、インソール4mm]
(REVO Sヒールの高さ:41.5mm [ロア7.5mm、フットベッド26.5mm、インナー2mm、中敷1.5mm、インソール4mm])

レーシング LINK FRAME

- 「新型ロアフレーム」により更なるスキーとの一体感<リンク>を実現。

ボトム面の厚みや形状を新設計する事により、ハイスピード、ハードバーンの状況下においても、雪面を確実に「捉え」、スキーの理想的な「フレックス」を実現し、爆発的な「推進力」を生み出す。 また、<フロント><センター><リア>のセクション別の最適設計を行う事により、「振動吸収」を可能とするサスペンション機能も搭載。



最大内傾角度のアップ

- ターン時に倒し込んだ際の、ブーツのシェルサイド部分が雪面に触れることを防ぐ設計。



口皮外皮

新BX-HR24インナー

- 背面から側面にかけて、口皮外皮の樹脂硬度を硬く、またサーモ素材を採用しつつ、インナーのボリュームを薄く設定することにより脚とアウトーシェルの一体感を実現すると共に、遊びの少ないシビアな動きが可能となる。
角づけ・解放という一連のスキー操作にこれまで以上の俊敏さが加わった。

新RX-24Rバックル

- レーシングシーンを想定し、強度をアップした締め込みやすいレバー設計のNewバックル。

